

キャラクター名
市松 忠治 (いちまつ ちゅうじ)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン モルフェウス		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	蕎麦屋のじじい
	オプショナル		年齢	不明 (外見年齢は70歳)	性別	男
覚醒	死	衝動	闘争	初期侵食率	38 %	
出自	貧乏	経験	戦争	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	1	0			3	行動値	7
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	2	0	0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転:蕎麦屋台			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
無銘	白兵	3r+4	3	10		遺産継承者: 鬼斬りの小太刀で取得。1点以上ダメージを与えるとEロイスを1個消費する。
壱ノ型「斬劇」	白兵	8r+4	3	10		(コンセントレイト:ハヌマーン) (一閃) (カスタマイズ) (砂の加護) 効果:じじいの盾一杯
弐ノ型「神風」	白兵	10r+4	3	22		(コンセントレイト:ハヌマーン) (一閃) (カスタマイズ) (砂の加護) (クリスタライズ) 効果:ガード不可, 装甲無視
伽石		0				(水晶の剣) Lv100以下: Max+18 Lv100以上: Max+24

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
蕎麦屋台	
コネ: 情報屋	
コネ: UGN幹部	
コネ: 噂好きの友人	
コネ: 警察官	
コネ: ハッカー	
ウェポンケース	
甚兵衛	
はんでん	
ステテコ	
草履	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者: 鬼斬りの小太刀	P	N		
天花寺 大悟	P 懐旧	N 隔意		
葛城 陸奥	P 信頼	N 不安		
盃龍 走	P 庇護	N 脅威		
文月緋志	P 信頼	N 不安		
朱宮晴	P 同情	N 隔意		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:ハヌマーン	2	2	メジャー	-	-	自動	-	
効果:	C値-Lv (下限値7)							
一閃	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	全力移動と同時に攻撃できる。							
砂の加護	3	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	判定前に宣言。ダイス+Lv+1。1ラウンド1回。							
カスタマイズ	1	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果:	ダイス+Lv							
浸透撃	2	2	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果:	ガード・カバ不可。1シナリオLv回。							
クリスタライズ	3	4	メジャー	-	-	対決	100	
効果:	攻撃力+[Lv×3]、装甲無視。1シナリオ3回。							
水晶の剣	3	4	メジャー	-	至近	自動	-	
効果:	武器ひとつの攻撃力+[Lv×2]。1シナリオ3回。							
サポートデバイス (肉体)	5	6	セットアップ	至近	自身	自動	80	
効果:	ラウンドの間、基本能力値を使用した判定のダイス+ [Lv×2] 個。1シナリオ3回。							
無上厨师	1							
効果:	うまい蕎麦をつくる							
折り畳み	1							
効果:	蕎麦屋台をコンパクトに持ち運ぶ							
軽功	1							
効果:	あらゆる場所に蕎麦屋台は現れる							
無音の空間	1							
効果:	時として、蕎麦屋台は密会の場となる							
万能器具	1							
効果:	物をよく知っているからこそ、常識はずれの物の扱い方ができる。							

◎概要◎
関西、特に京都を中心に蕎麦屋台「笹舟」を開いているさすらいの蕎麦職人。

…は表の顔で、実際は蕎麦屋台を即席の密会場として提供したり、レネゲイド関連のブツを運んだり、誰かがもらいに来るまでブツを預かったりするのが本業である。また、任務中に手に入れた情報をUGNに報告するのも彼の仕事である。
蕎麦屋台の本来の用途の問題もあって、忠治の店は神出鬼没。常連と思われる人も「次またどこで食べるのかまっつきり見当がつかない」と言われる始末である。小川を流れる笹舟が如くつかみどころのない屋台として、皆から「笹舟蕎麦屋」と呼ばれ、いつかそれが店名になった。
噂では美味すぎず普通すぎずの丁度いい味で、たまに思い出したように食べなくなる味なんだとか。

◎覚醒と蕎麦屋台開業◎
市松忠治が覚醒したと思われるのは1940年頃と思われる。
当時、貧乏ながらも必死で努力して陸軍士官学校を卒業した忠治は、旧日本陸軍所属の軍人として、周辺諸外国で起こる紛争や他国からの侵略を妨害する任務に就いていた。
しかし、仲間裏切り者があり、忠治らの部隊は追い詰められ、何名かは捕虜として北の国に連れていかれた。
忠治は戦友が裏切り者になったことに怒り、敵国の軍人に追い詰められてしまった自分を恥じて悔み、せめて大日本帝国軍人としての誇りだけは胸に抱いて死のうと思つた。そして、「大日本帝国万歳！！！！」と叫び、その腹に刃を立てた。
溢れ出る鮮血と叫びすら出せないほどの激痛・・・そして、蘇る自分の人生。
国を守り家族を思い、幸せな未来を歩むために手を取り合つて、誇りをもって共に戦ってきた戦友。
それが、この窮地に至ってあっさり裏切るなど、到底赦されるものか。
その瞬間、忠治の中にいた「鬼」が暴れた。
致命傷の鬼はその場にいた裏切り者の戦友や、敵国軍人を全て殺し、その身に血を浴び怒りを鎮めた。
この事件で手にした刀こそが、「無銘」である。この一件以来、無銘には忠治にしか引き出せない摩訶不思議な、妖力とも言える力を発揮するようになったのだ

